

午後 試験

各問の設問アではプロジェクトの概要を問うているが、システムや業務の概要、受験者が所属する企業や組織の紹介などに終始する論述があった。プロジェクトの概要の一般的な事項を答案用紙の“論述の対象とするプロジェクトの概要”に記入した上で、設問アでは、プロジェクトの特徴や制約など、以降の論述内容を理解する重要な事項の論述を期待している。また、設問ウでは、設問の要求である設問イの活動などとは関係なく、プロジェクトに関する評価や今後の改善点を論述しているものもあった。設問の要求内容をよく理解して記述してほしい。

問 1（情報システム開発プロジェクトにおける交渉による問題解決について）では、設問が要求している趣旨を踏まえた論述が多かった。しかし、交渉の計画や解決の選択肢の検討・評価など、交渉準備に関する内容にまで触れてある論述は少なかった。また、交渉は通常、双方向で複数のやり取りがあるが、一方的なやり取りや、交渉ではなく会議での協議、関係者との調整などだけについての論述も散見された。

問 2（情報システムの本稼働開始について）では、本稼働予定日までに解決できない課題への対応を経験していることがうかがえる論述が多かった。課題に対する対応策の検討に当たって工夫した点の論述を期待したが、システム開発時やシステム移行時に発生する課題への対応策について論述しただけで、プロジェクトマネージャの視点での工夫が乏しい論述が少なかった。

問 3（情報システム開発における品質を確保するための活動計画について）では、品質上の目標を達成するための活動計画の作成を経験していることがうかがえる論述が多かった。設問で求めている、作成した計画と作成した際の工夫の観点には触れておらず、プロジェクト遂行中に発生した品質上の問題を解決するための対応に終始している論述も少なからず見られた。